

都市再生整備計画 事後評価シート  
宮崎市シェアサイクル推進地区

令和6年11月

宮崎県宮崎市

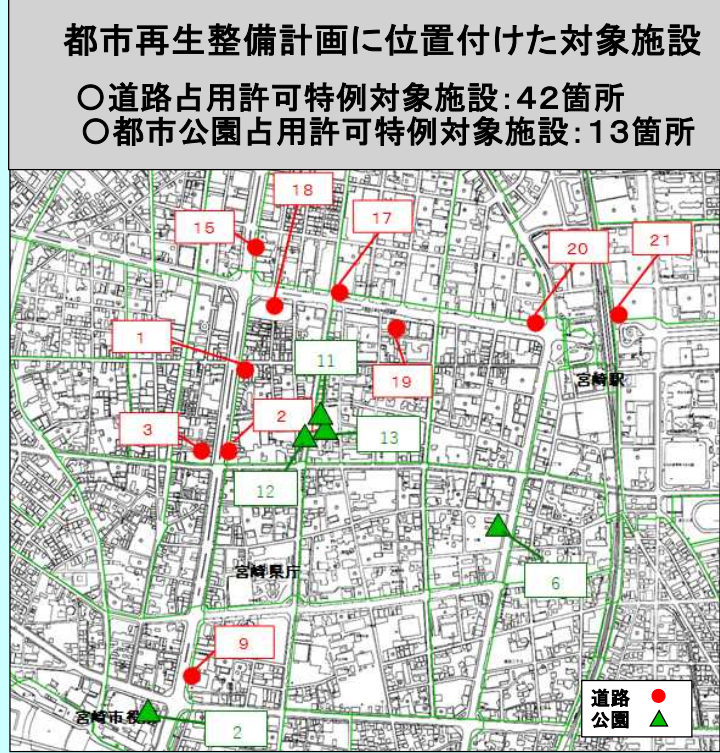
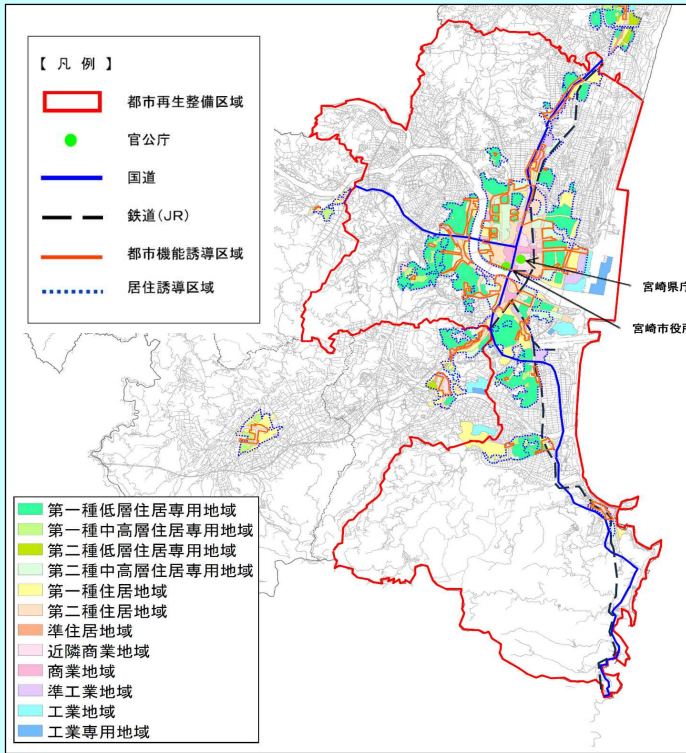
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮崎県		市町村名	宮崎市		地区名	宮崎市シェアサイクル推進地区			面積	28,614 ha	
交付期間	-		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	-	国費率	-			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	-								
	当初計画から削除した事業		事業名									
			提案事業	-								
	新たに追加した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			基幹事業	-			-			-		
	提案事業	-			-			-				
当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
変更	-											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング		評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	まちの回遊性向上と賑わい創出	回	18,791回	R1年度 25,000回	R6年度	-	33,592回 (R5年度)	○	あり なし	・本計画への位置付けにより、公共用地のサイクルポート占用がスムーズに行えたため。 ・市の補助によりポート増設及び新規車両の導入が促進されたため。	-
	指標2	公共交通の利便性向上	%	98.3%	R1年度 98.3%	R6年度	-	91.8% (R5年度)	△	あり なし	・バス停及び鉄道駅から200m以上離れたサイクルポートに一定の需要があったため。	-
	指標3									あり なし		
	指標4									あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング		評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の数値指標1	-										
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4) 定性的な効果発現状況	・占用許可特例制度の活用等により、サイクルポートの増設が促進されたことで、利用者の利便性が向上した。 ・シェアサイクルを促進するとともに、自転車通行空間の整備を進めることで、利用者の安全利用が促進された。											
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた		-		-			
	官民連携による取組		公共用地の占用料減免(用地管理者と事前に協議を行った上で本計画に位置付けているため、スムーズな占用申請が可能)		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		-		-			
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		-		-			
持続的なまちづくり体制の構築		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた		-		引き続き、本計画に位置付けを行い、公共用地の占用料減免を促すことで、サイクルポートの増設を図る。				
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		-						
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		-						

## 様式2-2 地区の概要

### 宮崎市シェアサイクル推進地区(宮崎県宮崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標：多様な都市機能が集約され、ネットワークが充実した都市の実現を目指す 目標1：シェアサイクルの導入を推進することで、まちの回遊性向上と賑わいの創出や、公共交通の利便性向上を図る	まちの回遊性向上と賑わい創出 単位：回	18,791回 R1	25,000回 R6	33,592回 R5
	公共交通の利便性向上 単位：%	98.3% R1	98.3% R6	91.8% R5



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアサイクルが市民に浸透したことにより、バス停や鉄道駅周辺のポート設置だけでは、利用者の多様な需要に対応できなくなっている。</li> <li>・交通ルールの遵守(道路交通法改正に伴うヘルメット着用努力義務化・右側走行による逆走防止)</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営事業者と連携し、需要の高いエリアにサイクルポートの設置を行う。</li> <li>・交通ルールの啓発や自転車通行空間の整備を実施する。</li> </ul>

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

~~添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)~~

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

添付様式3-① ~~モニタリングの実施状況~~

添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況

添付様式3-③ ~~持続的なまちづくり体制の構築状況~~

## (3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① ~~効果発現要因の整理にかかる検討体制~~

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① ~~今後のまちづくり方策にかかる検討体制~~

添付様式5-② まちの課題の変化

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

添付様式5-参考記述 ~~今後のまちづくり方策に関するその他の意見~~

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

~~添付様式7 事後評価原案の公表~~

## (6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

該当無し

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業				該当無し					
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査				該当無し					
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
			該当無し					



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし	
指標1	まちの回遊性向上と賑わい創出	回	累計利用実績 (令和5年度)	-	-	18,791	R1	25,000	R6	モニタリング	-	-	モニタリング	-	
				事後評価	確定見込み	●	33,592 (R5年度)	事後評価	○						
指標2	公共交通の利便性向上	%	令和5年度の利用回数のうち、バス停及び鉄道駅から200m以内に位置するサイクルポートの利用回数の割合	-	-	98.3	R1	98.3	R6	モニタリング	-	-	モニタリング	-	●
				事後評価	確定見込み	●	91.8 (R5年度)	事後評価	△						
指標3										モニタリング	-	-	モニタリング	-	
				事後評価	確定見込み			事後評価							

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共用地管理者と事前に協議を行った上で本計画への位置付けを行うことで、公共用地のサイクルポート占用がスムーズに行えたため。</li> <li>市の補助(シェアサイクル普及促進事業)により、サイクルポート増設及び新規車両の導入が促進されたため。</li> </ul>	-
指標2	<ul style="list-style-type: none"> <li>シェアサイクルが市民に浸透したことにより、バス停や鉄道駅から200m以上離れているエリア(住宅地、学校、観光地、宿泊施設)のサイクルポートの需要があったため。</li> </ul>	-
指標3		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
				基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	-	-	-		-		モニタリング	-	-	-	-
							事後評価	確定 見込み	-		
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・占有許可特例制度の活用等により、サイクルポートの増設が促進されたことで、利用者の利便性が向上した。
- ・シェアサイクルを促進するとともに、自転車通行空間の整備を進めることで、利用者の安全利用が促進された。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
-	予定どおり実施した	-	-
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
公共用地の占有料減免 (用地管理者と事前に協議を行った上で本計画に位置付けているため、スムーズな占有申請が可能)	予定どおり実施した	● 【実施頻度】5回(R2年度、R3年度、R4年度、R5年度、R6年度) 【実施時期】毎年度 【実施結果】サイクルポート数の増加	引き続き公共用地の管理者と協議を行い、都市再生整備計画に位置付けを行う。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
-	予定どおり実施した	-	-	-
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
-	-	-	-

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○	指標○	指標○	指標○				
指標名									
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業			該当無し		該当無し		該当無し		該当無し
提案事業			該当無し		該当無し		該当無し		該当無し
関連事業			該当無し		該当無し		該当無し		該当無し

※指標改善への貢献度  
 ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。  
 ○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。  
 △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。  
 -：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用				
-------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

該当無し

※目標未達成への影響度  
 ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。  
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。  
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。  
 -：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類  
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。  
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
-	-	-	-

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
サイクルポート用地の確保	本計画にサイクルポートを位置付けることが、ポート数の増加につながった。	シェアサイクルが市民に浸透したことにより、バス停や鉄道駅周辺のポート設置だけでは、利用者の需要に対応できなくなっている。	<p>①サイクルポート設置箇所の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる利用を促進するため、需要の高い箇所へのポート設置が求められる。</li> </ul> <p>②交通ルール違反</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路交通法改正に伴い、ヘルメット着用が努力義務化されたが、着用率が低い。</li> <li>・車線右側走行による逆走がみられる。</li> </ul> <p>③シェアサイクル利用者の快適性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体では電動アシスト自転車タイプが普及している中、本市では通常の自転車タイプしか普及していない。</li> </ul>

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	本計画への位置付けの継続	本計画へ位置付けを行う効果 ・用地管理者と事前に協議を行った上で本計画に位置づけているため、スムーズな占用申請が可能 ・占用料の減免	なし (公共用地の管理者と協議)

B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	サイクルポート設置箇所の整理	・周辺の環境を分析し、利用需要の高いサイクルポートを位置付ける。	なし (公共用地の管理者と協議)
	交通ルールの啓発・意識向上	・ヘルメット着用や交通ルールの啓発を行う。 ・自転車通行空間の整備を行う。	なし
	シェアサイクル利用者の快適性	・運営主体と電動アシスト自転車タイプの導入に向けた検討を行う。	なし

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。	※交付金の活用なし
<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。	
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。	※事業実施なし(基幹事業・提案事業・関連事業)
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。	※事業実施なし(基幹事業・提案事業・関連事業)
<input checked="" type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。	

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

- ・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	まちの回遊性向上と賑わい創出	回	18,791	R1	25,000	R6	確定 ●	33,592 (R5年度)	○	あり				令和6年9月以降サービスを停止していることから、令和6年度の確定値を算出できないため。
指標2	公共交通の利便性向上	%	98.3	R1	98.3	R6	確定 ●	91.8 (R5年度)	△	あり ●				
指標3				H		H	確定			あり				
指標4				H		H	確定			あり				
指標5				H		H	確定			あり				
その他の数値指標1	-	-	-	H			確定 見込み	-						
その他の数値指標2				H			確定 見込み							
その他の数値指標3				H			確定 見込み							



## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	シェアサイクルの利用状況に関して、運営主体と利用状況の確認を行い、現状を把握することができた。	引き続き運営主体と連携を行い、利用状況の把握を行う。
	うまくいかなかった点	-	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	数値目標(累計利用回数)と整備方針(まちの回遊性向上と賑わい創出)は直結しているため、適切に評価することができた。	次期計画においても、整備方針に直結し、実情に見合った数値目標の設定を行う。
	うまくいかなかった点	数値目標(バス停及び鉄道駅から200m以内に位置するサイクルポートの利用率)について、200m以上離れたポートの需要もみられるため、現状に見合った数値目標を設定する必要がある。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	-	-
	うまくいかなかった点	-	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	-	-
	うまくいかなかった点	-	
その他	うまくいった点	-	-
	うまくいかなかった点	-	

## 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

【都市再生整備計画事業の活用予定】

なし

【当該地区の次期計画】

引き続き、「宮崎市シェアサイクル推進地区」の計画を予定している。

## (5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	-	-	-	-	-
広報掲載・回覧・個別配布	-	-	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	-	-	-		

住民の意見	-				
-------	---	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	宮崎大学工学教育研究部 准教授 嶋本 寛	令和6年11月11日	宮崎市都市整備部 都市計画課	宮崎市社会資本総合整備計画等評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	宮崎市地域婦人会連絡協議会 会長 茜ヶ久保 真由美 宮崎県建築士会宮崎支部 会員 内田 恭代				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	特になし。
	成果の評価	成果の評価についての妥当性が確認された。
	実施過程の評価	実施過程の評価についての妥当性が確認された。
	効果発現要因の整理	特になし。
	事後評価原案の公表の妥当性	特になし。
	その他	特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	今後のまちづくり方策についての妥当性が確認された。
	フォローアップ	特になし。
	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。 現状の利用状況を把握した上でサイクルポート設置を検討すると良いという意見をいただいたため、今後の計画を策定する際に検討していきたい。
その他	特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

## (7) 有識者からの意見聴取

### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
-	-	-
-	-	-

有識者の意見	-
--------	---